

Tokyo Forum

Infrastructure Investor Network Tokyo Forum 2026

Thursday 4 June 2026 - マンダリンオリエンタル 東京

08:30	受付開始・ネットワーキング
09:00	PEI から歓迎の挨拶
09:10	<p>基調講演</p> <p>貴子 鬼塚, 環境金融室長, 経済産業省 (METI)</p>
09:30	<p>基調パネルディスカッション：脱グローバル化が進展する世界におけるインフラ投資の機会</p> <ul style="list-style-type: none"> リショアリング（欧州／アジア）の恩恵を受けるのはどの市場か、また構造的に不利な立場にあるのはどの市場か 投資家は地理的リスクと規制リスクをどのように再考すべきか デジタル化と脱炭素化のテーマは今後も主流であり続けるのか、投資家が注目すべき新たなトレンドとは何か <p>モデレーター：Philippe Wind 氏 (Operating Partner, La Caisse)</p> <p>パネリスト：</p> <p>Marta Perez 氏 (CIO Infrastructure, Allianz Global Investors)</p> <p>Guillaume Friedel 氏, Senior Partner and co-Head of New York Office, (Antin Infrastructure Partners)</p> <p>Danny Latham 氏 (Partner, Igneo Infrastructure Partners)</p> <p>Reserved (I Squared)</p> <p>Reserved (Vauban Infrastructure Partners)</p>
10:20	ネットワーキング・ブレイク
10:50	<p>パネル：次世代インフラを支える電力供給 [英語]</p> <ul style="list-style-type: none"> 電力ネットワークの近代化：投資家は長期的な信頼性を確保するために、送配電システムをどのように強化・近代化しているのか AI を支えるエネルギー：グローバルなデータセンター拡張に伴う膨大な電力需要を支えるために、どのような投資戦略が生まれているのか 電力ミックスのバランス：再生可能エネルギー、原子力、送電網のアップグレード、蓄電ソリューションは、次世代のエネルギーインフラをどのように形作っていくのか <p>モデレーター：Yuriy Humber 氏 (President, Yuri Group)</p>

Tokyo Forum

	<p>パネリスト： Joost Bergsma 氏 (Global Head of Clean Energy, Nuveen Infrastructure) Ryan Chua 氏 (Senior Managing Director, Stonepeak)</p>
11:40	<p>プレゼンテーション：アルファ測定と市場アウトパフォーマンスに基づくファンド選定 Frederic Blanc-Brude 氏 (CEO, Scientific Infra & Private Assets (SIPA))</p>
12:00	<p>ネットワーキングランチ</p>
13:00	<p>パネル：コアプラスへのシフト：リスク、価値創造、安定性の再考、リスクカーブ上昇の原動力とは [英語]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● リスクカーブ上昇の原動力とは何か ● 投資家は付加価値（バリューアッド）リスクを取らずに、どのように二桁のリターンを達成できるのか ● コアプラスはリスク、リターン、あるいはその両方を重視するものなのか <p>モデレーター：江尻 達郎, シニア・ヴァイス・プレジデント, アクシア・ジャパン</p> <p>パネリスト： Serkan Bahceci 氏 (Partner & Head of Research, Arjun Infrastructure Partners) Alistair Ray 氏 (CIO, Dalmore Capital) Philip Kent 氏 (CEO, Gravis) Jeff Pentland 氏 (Managing Director, Northleaf Capital Partners) Roger Lloyd 氏 (Chairman, Palisade Investment Partners)</p>
13:45	<p>プレゼンテーション</p>
14:05	<p>パネル：日本の LP によるデジタルインフラ戦略：アロケーション、リスク、価値創造 [英語]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 現在、最もリスク・リターン比率の高い投資先はどの国または分野（データセンター、光ファイバー、タワーなど）か ● デジタルインフラ資産の開発における最大の障害は何であるか、またそれらをどのように軽減するか ● この分野への投資は、単一資産投資からプラットフォーム投資へと移行する中で、どのように進化してきたのか <p>モデレーター：Ari Druker 氏 (Advisor, Flying Point Capital)</p> <p>パネリスト： Reserved 氏 (Ares Management) Rajiv Khakhar 氏 (Executive Director, Morrison) Josh Oboler 氏 (Partner, Palistar Capital) Matthias Vukovich 氏 (Partner, Seraya Partners)</p>

Tokyo Forum

14:50	ネットワーキング・ブレーク
15:20	<p>パネル：輸送インフラの再興：メガトレンドの活用 [英語]</p> <ul style="list-style-type: none"> 輸送分野における実行可能なパイプラインはどこにあるのか（高速鉄道、貨物輸送回廊、港湾・物流ハブ、EV 充電ネットワーク、自動運転インフラ） 脱炭素化、デジタル化、サプライチェーンのレジリエンス、そしてそれらが輸送インフラの再構築に与える影響 輸送におけるリスク・リターン特性の理解：長期キャッシュフロー、インフレ連動性、規制リスク <p>モデレーター：Tom Taylor 氏（Reporter, Infrastructure Investor）</p> <p>パネリスト：</p> <p>John Hanna 氏（Managing Partner, Basalt Infrastructure Partners）</p> <p>Nick Gibson 氏（President, Asia Pacific, Glydways）</p> <p>小島 徳士, マネージングディレクター, OMERS インフラストラクチャー, NIIF</p> <p>Carl Elia 氏（Vice President & Director, Global Infrastructure Investments, TD Asset Management）</p>
16:10	<p>パネル：コアからトランジションへ：日本の機関投資家の次の動き [日本語]</p> <ul style="list-style-type: none"> グローバル・アロケーション戦略：現在のマクロ経済環境において、日本の LP は海外投資をどのように考えているのか ポートフォリオ構築：コアとコアプラスは依然として中心だが、日本の投資家はエネルギー転換やデジタルインフラといったバリューアード戦略やテーマ型戦略への投資拡大にどの程度積極的か リスク管理：LP はテクノロジーの破壊的変化や地政学的リスクをシナリオプランニングにどのように組み込んでいるのか <p>モデレーター：小泉 貴子, マネージングディレクター, (株) 許斐</p> <p>パネリスト：</p> <p>発知 孝介, インベストメント・オフィサー, 大同生命保険</p> <p>松永 健一郎, 専門役, ゆうちょ銀行</p> <p>佐藤 昌道, インフラストラクチャー投資担当 担当部長, かんぽ生命</p> <p>米沢 純一, 運用部 部長 オルタナティブグループ, 農林中金全共連アセットマネジメント</p>
17:00	5 分間の休憩
17:05	閉会基調講演
17:30	カクテルレセプション
18:30	1 日目終了

Tokyo Forum

2026年6月5日（金） - マンダリンオリエンタル 東京

8:00	実物資産ワークショップ	
8:30	受付・ネットワーキング	
9:05	PEIによる開会の挨拶	
9:10	基調講演 [日本語] 田中 麻理, 民間投資部 調査・データ分析部長、年金積立金管理運用独立行政法人 (GPIF)	
9:30	基調講演・パネルディスカッション：実物資産と投資戦略の融合の進展 <ul style="list-style-type: none"> 融合のトレンド：電力網、データセンター、光ファイバーネットワーク、物流資産の相互依存性の高まり、そして投資家がこれらを統合されたエコシステムの一部として評価すべき理由 主要なLPとGPが、エネルギーアクセス、デジタル容量、物理的流通の優位性を組み合わせたマルチアセット運用プラットフォームへと移行している理由 融合の進展を踏まえ、GPは実物資産チームと戦略のリソース配分と再編をどのように行っているのか モデレーター：濱康 彦, マネージングディレクター, クロスポイント・アドバイザーズ パネリスト： Peter Hobbs 氏 (Managing Director, bfinance) 林 健太郎, 部長, DBJ アセットマネジメント 弓野 啓吾, シニアマネージャー, 国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST)	
10:20	休憩	
	ストリーム A：インフラ投資の徹底分析	ストリーム B：実物資産とプライベート市場への投資入門
10:50	パネルディスカッション：エネルギー貯蔵に焦点を当てる <ul style="list-style-type: none"> どのような新しいエネルギー貯蔵技術が登場しているのか、またLPは、それらのリスク・リターンと拡張性をどのように評価すべきか 投資家はこの分野におけるマーチャントリスク、キャッシュフローの安定性、その他の課題にどのようにうまく対処しているのか 投資家はエネルギー貯蔵へのエクスポージャーをどのように構築すべきか。 	パネルディスカッション：プライベート市場におけるインフラと不動産 — ポートフォリオにおける役割の理解 <ul style="list-style-type: none"> LPは、収益の安定性、インフレ連動性、分散投資、長期的な資本保全を実現する上で、不動産とインフラの役割をどのように区別すべきか 日本のLPが強靱な実物資産ポートフォリオを構築する際に留意すべき最も重要な課題は何か インフラと不動産は、金利サイクル、インフレ環境、景気減速といった局面

Tokyo Forum

	<p>直接投資、共同投資、ファンド、プロジェクトプラットフォームなど、そしてこれらはより広範なインフラおよびエネルギー転換ポートフォリオとどのように統合されるのか</p> <p>モデレーター：Alex Bebov 氏 (Director, BAC)</p> <p>パネリスト： Srini Viswanathan 氏 (Founder & CEO, AltEons Energy) Alex O' Cinneide 氏 (CEO, Gore Street Capital) Michael Butler 氏 (Managing Partner - Japan, TagEnergy)</p>	<p>において、どのように推移し、どのような点で真に相互補完的な関係を築くことができるのか</p> <p>モデレーター：Kallan Resnick 氏 (Partner, PJT Park Hill) 中村 博信, 代表取締役社長, カナディアン・ソーラー・インフラ投資法人</p> <p>パネリスト： 竹内 丈二, エグゼクティブマネジャー, アセットマネジメント One 水垣 寛人, 海外リアルアセット運用部 シニアマネージャー, 東京海上アセットマネジメント</p>
<p>5 分間の休憩</p>		
<p>11:35</p>	<p>パネルディスカッション：プライベートクレジット台頭時代のインフラ債務</p> <ul style="list-style-type: none"> • プライベートクレジットの成長において、インフラ債務はどのような役割を果たすのか • これはインフラエクイティにどのような影響を与えるのか債務の運用資産総額はエクイティを上回るようになるのか • プライベートクレジットの成長を加速させている資産担保融資現象の影響とは <p>モデレーター：Frederic Blanc-Brude 氏 (CEO, Scientific Infra & Private Assets (SIPA))</p> <p>パネリスト： 木村 佑, 執行役員 インフラ投資本部長, DBJ アセットマネジメント 三沢 祥二, 常務執行役員, オリックス銀行</p>	<p>パネルディスカッション：実物資産市場における投資ビークルの種類：オープンエンド型ファンドとクローズドエンド型</p> <ul style="list-style-type: none"> • 構造と成果の理解：オープンエンド型とクローズドエンド型の選択が、実物資産ポートフォリオのリターンプロファイル、運用ペース、流動性、手数料、ガバナンスにどのような影響を与えるか • 期間と目標の整合：ファンド構造を目標に合わせる—安定的な収益、インフレヘッジ、プラットフォームの成長、価値創造、移行/開発へのエクスポージャー • リスク管理と整合性：両モデルにおけるパフォーマンスの透明性、評価手法、償還管理、共同投資アクセスをどのように評価するか <p>モデレーター：岩瀬 さや佳, 東京支店長, ファイブアローズマネジャーズ, ロスチャイルドアンドコー</p>

Tokyo Forum

	<p>Marat Zapparov 氏 (CEO, Pentagreen Capital)</p>	<p>パネリスト： Nicholas Riordan 氏 (Senior Director, Infrastructure Solutions, CBRE Investment) 小野 泰宏, 代表取締役, ディープストーン・パートナーズ 永田 明史, プライベートアセット投資部専門部長, ニッセイアセットマネジメント株式会社 Len Umantz 氏 (Head of External Manager Research, Rogers Investment Advisors)</p>
<p>12:15</p>	<p>パネルディスカッション：日本のインフラ市場の今後はどうなるのか</p> <ul style="list-style-type: none"> 蓄電池の役割：日本最大のインフラ投資機会となるか 企業、GP、機関投資家はプラットフォームモデルでどのように連携しているのか 日本のエネルギー転換目標、送電網の制約、電化の動向は、再生可能エネルギー、運輸、社会インフラの投資優先順位をどのように変えているのか <p>モデレーター：Dan Shulman 氏 (Chief Executive Officer, Shulman Advisory)</p> <p>パネリスト： 中嶋 秀夫, 代表取締役副社長, 大和エナジー・インフラ シャー (渡邊) 優子, 会長, ヘキサ・エナジー・サービス合同会社 Devarshi Das 氏 (Managing Director, Head of Asia Pacific Equity, ICG) 岡村 研二郎, 最高投資責任者, 大和エナジー・インフラ Virginie Sandilya 氏 (Director, Shizen Energy)</p>	<p>パネルディスカッション：日本のプライベート市場における若手人材の採用</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在、LP と GP はどのように、そしてどこから若手人材を発掘しているのか、また従来の採用ルートはどのように変化したのか この市場を形づくる日本特有の障壁や機会とは何か プライベート市場における効果的な若手人材育成とは何か <p>モデレーター：千葉 彩耶, ディレクター, アストリス・アドバイザー・ジャパン</p> <p>パネリスト： 末崎 桂, 資産運用部資産運用チーム, マネジャー, アクサ生命保険株式会社 櫻井 克嗣, 日本副代表/プリンシパル, ハミルトン・レーン 秦 由佳, 執行役員/ファンド投資室長, 株式会社産業革新投資機構 (JIC)</p>

Tokyo Forum

13:00	ネットワーキングランチ
14:00	不動産業界における女性ネットワーキングイベント（PERE 東京フォーラムと共催）
14:05	<p>基調パネルディスカッション- 障壁を打ち破る：実物資産分野における女性の活躍推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 真の進歩を推進する：日本の実物資産セクターで女性管理職比率を高めるために、何をを変える必要があるのか ● 政策から成果へ：実際に効果を発揮する構造改革とはどのようなものか。また、目に見える進歩を実証した事例研究とはどのようなものか ● 日本市場とグローバル市場：どのような国際的なベストプラクティスを効果的に導入できるのか、またどのような分野で独自の地域特化型ソリューションが求められるのか <p>モデレーター：Lisa Du 氏（Reporter, Bloomberg）</p> <p>パネリスト：</p> <p>シャー（渡邊） 優子, 会長, ヘキサ・エネルギーサービス合同会社</p> <p>藤井 夕貴子, インフラアジア・大洋州サービス事業部長（電力・インフラ戦略投資事業部長）, 丸紅株式会社</p> <p>景山 綾子, 責任投資部門 イノベーティブ・サステイナブル・ファイナンス責任者, 日本生命保険相互会社</p>

すべてのセッションは日本語と英語で行われ、同時通訳が利用可能です。